

(会議の経過) 第4回宍粟市スポーツ推進計画策定委員会

発言者	議題・発言内容
事務局	<p>※開会</p> <p>それぞれお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。本日は、4名の委員の欠席について連絡を受けています。それでは、第4回策定委員会を開会させていただきます。なお、本年度予定している委員会は、今回が最終となりますのでよろしくお願いします。</p>
委員長	<p>※あいさつ</p> <p>議事に入ります。事務局から説明をお願いします。</p> <p>(1) アンケートクロス分析等の結果について (2) 中・小・就学前保護者対象者アンケートについて</p>
コンサル	<p>※アンケートクロス分析等の結果について説明 ※中・小・就学前保護者対象者アンケートについて説明</p>
委員長	<p>ご質問はありませんか。</p>
委員	<p>イベントなどについて、年代別で傾向が違うと思いますが、感覚として気づきなどはありますか。</p>
委員	<p>いずれにしても、コロナの影響はあると思います。宍粟市は運動、スポーツの回数は少ないことがわかりました。50歳代がよくないのではと予想しています。有意差はなかったでしょうか。</p>
コンサル	<p>年齢別でみると、コロナの影響を受ける前をみると、週3日以上運動を行っている方をみると、最も少ないのは30、40代で2割程度となっています。50歳代については3割程度の方が運動を行っている結果になっています。現状をみると、コロナの影響を受けて、ほとんどの年代において低くなっています。その中で、40歳代が週3日の割合が最も少なくなっており、65～69歳の方は、コロナ前に比べて特に低くなってきています。有意差まではわかりません。</p>
委員	<p>年代別で、イベントについて、無回答があるので断定はできませんが、年齢の高い方は、自治的、地域の捉え方が強いのではと思います。若い世代の10～20歳代は市の大会という捉え方なので低くなっていると思います。30歳代は子育て世代で、子ども会、また、学校単位でも企画を行っているのではと思っています。そういう意味ではかなり広域な宍粟市なので、市で一つとして行うのは現実的ではなく、エリアや目的を絞って考えた策を考えていく、スモールサイズの考え方になるのではと思います。</p>
委員	<p>市はコロナの影響を受けているということですね。</p>
委員	<p>年齢の高い方が回答されているので、そうなると思います。</p>

委員長	コロナの影響により、正確な結果となっていないところもあるようです。
事務局	・市スポーツ団体との意見交換について コロナの影響で延長になっており、まだ意見交換できていない状況です。アンケートもまん延防止が解除されてから行いますので、次回の会議で報告いたします。
委員長	よろしいでしょうか。
事務局	(4) 基本理念等の検討の進め方について (5) 他自治体の骨子・計画の構成の事例について ※基本理念等の検討の進め方について
コンサル	※他自治体の骨子・計画の構成の事例について
委員長	ご意見等がありますか。
委員	基本目標で、「する・みる・ささえる」を意識すると言われましたが、「見るスポーツ」は都会ではあると思いますが、見るということは減ってきていると思いますが、どのようにお考えですか。
コンサル	必ず入れなければいけないことではありません。「見るスポーツ」は国際大会が日本で行われるときに、ホームタウンとして、各国の選手を誘致して、その中で交流をしたりしています。見るだけでなく、一流のアスリートとのふれあいも入ってきている状況もあるので、市でも行うことができるのであればということで、入れています。必ず、「見るスポーツ」を入れなければいけないということではなく、案として入れています。
事務局	※スポーツの交流の事業の説明
委員	今まで以上に市民に周知して、参加してもらおうということですね。
事務局	はい。
委員長	実際に取り組んでいるものが「見る」にあたるものもあります。
委員長	宍粟市のたくさんの人に知ってもらうのは、「見る」につながります。促すことが必要だと思います。メダルを取った人も来るかもしれません。子どもが見ることはすごいことだと思います。
委員	ダンスはスポーツになるのでしょうか。
事務局	スポーツという解釈でいいと思います。

<p>コンサル</p>	<p>アンケートの中でも、やっているスポーツの回答にダンスは入っています。</p>
<p>委員長</p>	<p>小中学校の授業の中にもダンスがあります。実際にワークショップについて説明をいただき、テーブルで用意してあるものを使って、知恵を出し合っていたらと思います。</p>
<p>※ワークショップ 意見まとめ</p>	<p>・意見交換</p> <p>【1グループ (①誰もが、いつでも・どこでも・いつでも)】</p> <p>課題としては、少子化によって、人が集まらない。高齢者の移動手段がないのが課題として上がっている。課題から何が必要かにつながるかについて、移動手段としては、コミュニティバスをうまく利用できたらいい。それぞれの年代で、プログラムの抱き合わせができないかという意見もでた。めざす方向については、運動参加率が低い子育て世代への参加がしやすいようにしていきたい。学校でのスポーツボランティアの育成については、部活動の指導の話も出てきているが、一緒に進めていきたいと思う。課題で、専門のスポーツ施設がないということもあるが、理想は総合的な運動公園の整備もできたらと言う話もあった。地域にスポークラブがあるが、活発にできていないところもある。スポーツクラブも市全体として停滞しているところもある。</p> <p>【2グループ (②スポーツと健康・健幸づくり)】</p> <p>50歳代が動いていないという結論がでた。ライフステージにあった、体操などを考えていかないといけない。体力が低下したときに、誰に相談したらいいのか。病院なのか、保健師に相談するのか、どうしたらいいのか明確ではない。健康と福祉分野の連携もあるところと、身障者のスポーツをどうしたらいいのか。今やっているのは、ボッチャ、ペタンク等は定期的にやっているが、施設に行ったら、毎月できる施設の整備も必要という意見も出た。集まって運動する、大会をするにしても昔は自治会対抗も50チームくらい出場していたが、今は少なくなっている。みんなが集まってできるスポーツも考えていかないといけないという意見が出た。楽しくできることがなくなってきて、個々でやっているイメージがあるので、そこも検討していかないといけないと思う。</p> <p>【3グループ (③スポーツと地域づくり)】</p> <p>地域性として少子化、高齢化、人口減少が課題として挙げられた。リーダーがいない中で、全体的に個人スポーツを好む傾向があることが課題となっている。全体的に世話役の負担が大きい。環境的には場所がないだけでなく、忙しく参加していない。きっかけがない。身近にスポーツがない地域環境も課題となっている。親世代のスポーツ実施の低下。親が好きだったら、子どもも好きであるが、スポーツを好む環境が低下している。兵庫県がスポーツクラブをやると言っているが、後継ができていない。方向性は、ちょっとしたことで、やってみる火をつける取り組みをする。少人数でもできる環境づくり、公民館でも楽しめるスポーツもある。この間やっていた丸太卓球も楽しんで行っていたので、めざす方向で、スポーツを通じて地域づくりにつながっていく。下支えをする人をみんなで集める。何が必要かということ、企画していく人づくり、そのためには、雰囲気づくりが大事である。やってみよう、面白いと思われる地域</p>

<p>委員</p>	<p>行事を、勇気を出してやる。費用がかからないものをやる。自然に行われているのは、グラウンドゴルフ、歩いている人も多くなっている。そういった中で、スポーツを通じて、地域づくりにもつながっていく。</p> <p>全体的に細かくは把握できていないわけではないが、人材のこと、地域の中での課題が絡み合っている部分が1点ある。ここに集まっているメンバーが昭和世代の人なので、発想が多いが、唯一、SNSを使った若者へのアピールがある。具体的に考える余地はある。スポーツで体を動かすのは、どのように考えていくのか。アンケートでもわかって、自分事で集まって、議論してコーディネートして、やってみよう、火付けをどうするか。市民に、主体が発信して、やりたいことを発信する。ボランティアでは、企画を出したら、行政が補助してくれることが多くなってきた。意外と年齢に限らず、自分たちがSNSでチラシを作っている。限られた人数を集めて、広がっていく形もある。地域が目に見える、校区、地縁の地域だけでなく、コミュニティの違う考え方も出てくると思う。地縁や地域は面倒くさいと若い人は思ってしまう。自分たちでやりたいことをやらせる仕組みは必要だと思う。今まではスポーツはセットして、その枠でやってもらっていた。大人の発想は、若者にはフィットしない。そこは、いろんな意見をもらいながら、具体策を考えないといけない。高校生が授業の中で、総合的な学習で提案をして、地域の品物を作っている。そこも絡んで、若い世代の意見を取り入れる方向性は必要だと思う。スポーツは古い体質が残っているので、その枠でセットしても参加率は上がってこない。どうしたらいいかと考えたときに唯一のSNSでどのように発信をしていけばいいかを考えていきたい。意見を見ながら、次回に向けてまとめていければと思う。自由に話してもらっただけでも良かったと思う。全体を通して感想などありますか。</p>
<p>委員長</p>	<p>若い世代が、中学校の部活動が大変であるというイメージは少ない傾向にあると思う。そのあたりもふまえて参加しやすいものが必要である。地域を生かしていく、若い人へ発信できるようないい知恵はないか。</p>
<p>委員</p>	<p>部活動への参加率は、激減はしてはいないが、求められていることは変わってきています。自分のスキルアップや自己実現として、時間をかけていきたいと思っているとともに、仲間と課題活動としてできればいいという形もあります。地域に移行する取組も進めています。平日は部活動で、土日を地域に出たときに、多くの地区は、土日は部活動をスライドするのではなく、平日だけでもいいという選択で、継続してもいいというようにすると、4割程度は平日でいいという傾向が出ています。地域性は関係ないです。昭和の時代はやることになかったですが、今はいろんな選択があるので、土日に縛られないでやりたいというニーズが一定数反映されているのではと思います。それを市としてどのように捉えて、教育機能として大切なので、土日もやっていく方向性でいくのか。そのあたりを考えて議論しないといけません。単純にスポーツを楽しむということと、教育としてスポーツを位置付けるのかの分岐点となると思います。総合型地域スポーツクラブとして考えないといけないのは、安全はもちろんですが、学校とは別であり、普通のスポーツなので、地域、学校関係なく、個人として楽しんでスポーツを行っているところも増えてきているので、そのあ</p>

	<p>たりをどのように考えていくのか。青少年の関係については、簡単に結論は出ないと思うが、学校関係だけでなく、全体の中で考えようということは計画に盛り込めるのではないかと考えています。重要な課題であると思っています。</p>
事務局	<p>・次回日程 予定していた時間となりました。次回の日程については、5月頃で日程調整をします。年度が替わる関係で委員の交代もあると思いますので、後日日程は連絡させていただきます。その間に今日いただいた意見は、相談させていただき、次回の議論につながるように、事務局で整理をしていきたいと思っています。</p>
委員長	<p>※あいさつ</p> <p>※閉会</p>

* 発言者の表記は、「委員長」、「委員」、「事務局」、「コンサル」とする。